

事務事業名	家畜防疫事業	整理番号	41101-000
所 管	農林課 農政スタッフ		

事務事業の位置付け

期間	平成 年度 ~ 平成 年度	根拠法令・要綱等	家畜伝染病予防法
基本計画における位置付け	基本政策 4-1 魅力ある農林業の振興 政策 4-1-1 農業の振興	関連政策	

事務事業の内容

目的 (何のために)	家畜の疫病予防等のため、各種予防注射等を実施し、畜産振興を図る。
対象 (誰・何を)	牛、豚、鶏の家畜及びミツバチ
手段 (どのようなやり方で)	毎年、定期的に防疫対策として、豚コレラ、豚丹毒、ミツバチフソ病、牛結核、ブルセラ病等の各種予防注射、また、定期的な疫病の検査の実施
成果 (どのような状態にしたいか)	疫病の発生を抑え、健全な獣畜を育成し、消費者に対して良質で安全な食肉等の提供が行える。
事務事業の背景・住民の意向	定期的な予防注射等により、実害のある疫病は発生していないが、病原性鳥インフルエンザは、他県の遠方で発生している。
見直し改善の経過	単に消毒を行うのではなく、適時に適量薬剤の使用を行った。

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)												
平成16年度	定期予防注射、畜舎消毒	<table border="1"> <caption>投入コスト(千円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>直接経費(上段)</th> <th>人件費(下段)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16年度</td> <td>約1,800</td> <td>約800</td> </tr> <tr> <td>17年度</td> <td>約1,800</td> <td>約800</td> </tr> <tr> <td>18年度</td> <td>約1,800</td> <td>約800</td> </tr> </tbody> </table>	年度	直接経費(上段)	人件費(下段)	16年度	約1,800	約800	17年度	約1,800	約800	18年度	約1,800	約800
年度	直接経費(上段)		人件費(下段)											
16年度	約1,800		約800											
17年度	約1,800	約800												
18年度	約1,800	約800												
平成17年度	定期予防注射、畜舎消毒													
平成18年度	定期予防注射、畜舎消毒 (牛六混合232)													

評価指標

予防注射数	疫病による死亡獣畜数(頭)	予防注射1頭当りのコスト(円)																														
<table border="1"> <caption>予防注射数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H16</td> <td>約350</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>約350</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>約800</td> </tr> <tr> <td>H0目標</td> <td>約800</td> </tr> </tbody> </table>	年度	数	H16	約350	H17	約350	H18	約800	H0目標	約800	<table border="1"> <caption>疫病による死亡獣畜数(頭)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H16</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H19目標</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	数	H16	0	H17	0	H18	0	H19目標	0	<table border="1"> <caption>予防注射1頭当りのコスト(円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>コスト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H16</td> <td>約200</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>約400</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>約1,000</td> </tr> <tr> <td>H0目標</td> <td>約1,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	コスト	H16	約200	H17	約400	H18	約1,000	H0目標	約1,000
年度	数																															
H16	約350																															
H17	約350																															
H18	約800																															
H0目標	約800																															
年度	数																															
H16	0																															
H17	0																															
H18	0																															
H19目標	0																															
年度	コスト																															
H16	約200																															
H17	約400																															
H18	約1,000																															
H0目標	約1,000																															

事務事業の評価

観点別・一次評価(担当部署の評価)		コメント	今後の方向性
観点別評価	必要性	定期的な各種予防注射、畜舎消毒等の実施により、疫病の発生が抑えられているため、今後も必ず継続して実施する。	継続
	有効性		
効率性			
一次評価	B		
二次評価(行政評価委員会の評価)		コメント	今後の方向性
二次評価	B	畜産農家、J A、行政の役割を検討されたい。	継続

改革プラン

平成19年度からの対応	鳥インフルエンザ等の重大な病気に対する監視、検査の実施 家畜防疫のため、畜舎及び周辺の消毒、畜舎周辺の環境整備の実施
平成20年度以降の対応	"
改革により予想される成果	消費者に対し、安心安全な農産物(食肉等)の提供、健全な家畜の育成が図れる。